

# 充電型 V A P E 型式確認検査制度（自主安全評価基準）

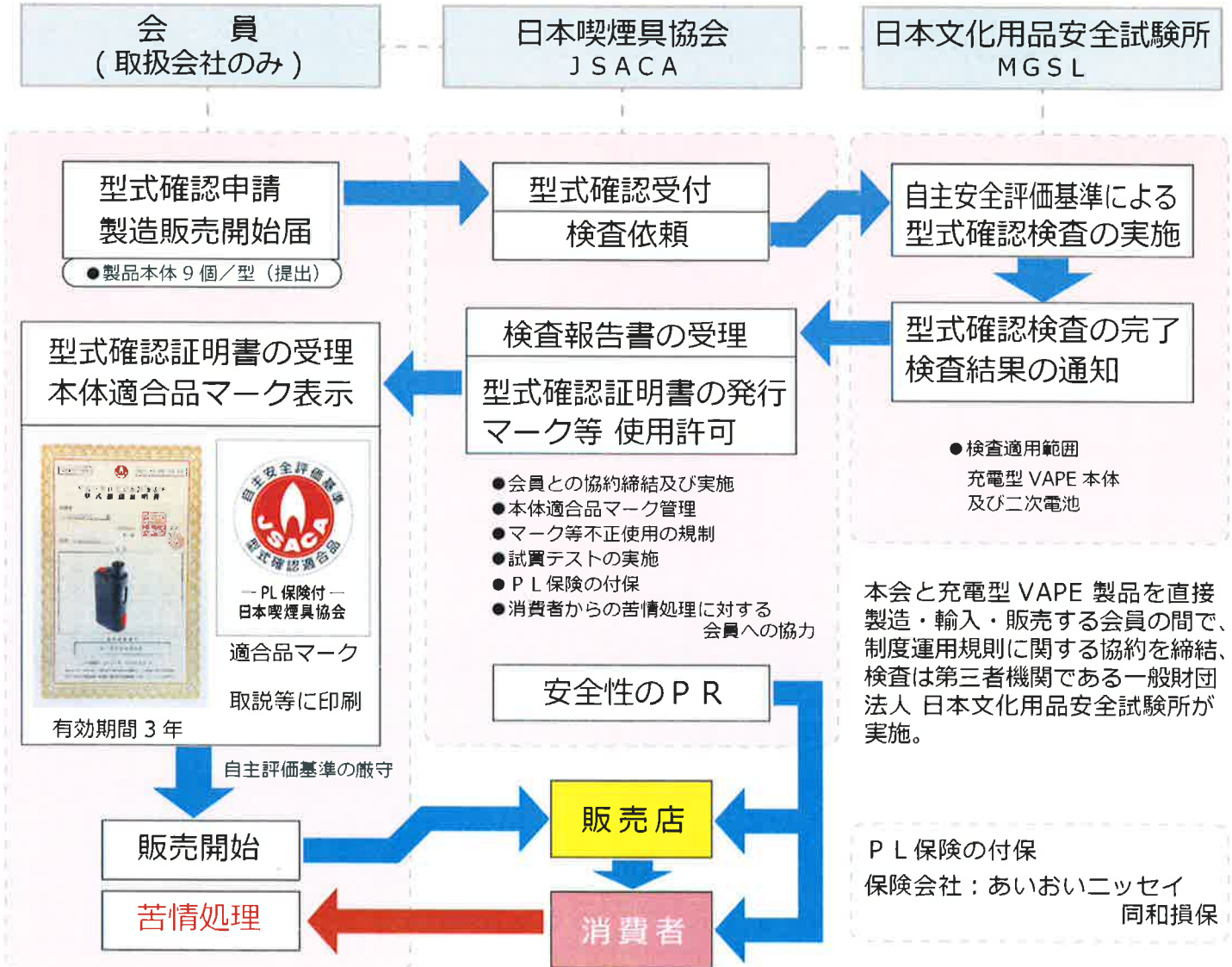
## 目 的

近年、リチウムイオン二次電池等を用いて、リキッドをコイルで加熱、蒸気化させて経口する電子たばこ（通称：V A P E）が流通しています。しかし、二次電池等を使用していることから、充電時に発熱、発煙、発火といった事故の危険性が潜在しています。一般社団法人 日本喫煙具協会では、消費者の安全・安心を守り、製品の安全性の確保を図るとともに、会員製品の優位性・信頼性をアピールし販売の促進に寄与することを目的として、本会会員が直接製造・輸入・販売する充電型 VAPE について平成 30 年 4 月 1 日に自主安全評価基準を作成、同年 5 月 1 日に同基準に基づいた検査制度を施行開始しました。

**検査は、本会会員であれば正会員・賛助会員を問わず受検可能です。**





※ 検査の対象となるのは、U S B 等を用いてバッテリーを充電して使用する VAPE です。  
使い捨てタイプの VAPE は対象外となります。

## 型式確認申請から型式確認証明書受理、販売までの流れ



**検査内容** 構造的、電気的安全性、機能的な要求事項を確保

検査項目		備考	検査項目		備考
本 体	(1) 外観構造確認 外装に鋭利な部分が無い事を確認。	鋭利なバリなどが無いこと 	(6) はんだ付け状態確認 はんだ付けに外れや不具合などが無いことを確認。		はんだ
	(2) 電池仕様確認 バッテリー表示と定格の整合性を確認。	仕様表示  仕様表示 	(7) 電気回路確認 仕様書等と回路の整合性を確認。		電気回路 (基板)
	(3) 平常動作確認 バッテリーの電流・電圧で異常温度が無いことを確認。	異常温度が無いこと  「ON」にした状態で確認	(8) 異常動作確認 電氣的に安全に停止することを確認。	電源「ON」 	電源「OFF」 吸引確認 数分放置
	(4) 分解観察 異物や可燃物が無いことを確認。	異物、可燃物なし 	(9) 振動試験 振動を一定時間加え、バッテリーやデバイスに影響が無いことを確認。 ※デバイスとは電子タバコ本体		振動試験機にて検査
	(5) 内部配線状態確認 配線に外れや、傷等が無いことを確認。	配線の傷無きこと 	(10) 取扱説明書及び警告表示 取扱方法や注意事項の適切な表示があることを確認。		取扱説明書 警告・注意! ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○

検査項目		備考	検査項目		備考
二 次 電 池	(1) 組セルの過充電試験 容器温度を測定後、温度変化を測定し、発火や破裂が無いことを確認。	組セル  過充電 バッテリーと基板	(3) 温度サイクル試験 ある温度条件で一定期間放置し、発火や破裂が無い事を確認。		組セル 恒温槽で一定の温度で放置
	(2) 外部短絡試験 端子を短絡させ、発火や破裂が無いことを確認。 ※短絡とは「ショート」させることです。	単セル (バッテリーのみ)  短絡	(4) 充放電性能試験 定格容量まで充電後、放電し容量を測定。定格容量の100%以上であることを確認。		単セル (バッテリーのみ) 充電・放電

**注記**：単セルとは：バッテリー本体のみのことです。 組セルとは：基板等が組み込まれた状態のバッテリーです。  
二次電池とは：充電が可能なバッテリーです。

**お問い合わせ**

本会への入会、検査に関する具体的な内容については、下記までお願いします。

一般社団法人 **日本喫煙具協会**  
☎ 03-3845-6121